

ステンレス製型枠で時短実現！



～時短・生産性を向上させる工夫～

① 残業が多いから人手を増やしたいけど、なかなか人が集まらない。

残業の主な原因はなんでしよう。



② やっぱり工期が厳しいのが一番だ。うちは型枠専門でやってるんだけど、短い期間で型枠の作成や設置を元請に求められるから、どうしても残業させてしまう。

木製だから、損傷しやすいし



③ 残業を削減するには、業務の効率化をすすめることが重要です。たとえば、型枠を木製からステンレス製に変え、それを使いまわすことによって、効率化につながるかもしれませんよ。

なるほどね

助成金もありません



④ 助成金を利用し、ステンレス製に変えたところ、型枠を工事ごとに作成する手間が省略され、残業時間短縮になりました。

賃金も引き上げられ、人材確保につながった



取組事例紹介

※印部分：「AICHI WISH企業認定制度」
「36協定上限引下げ★+設備投資★★=★★★★」に該当

業種：建設業 従業員数：26名

工事の際に木製の型枠を使用していたが、型枠の作成と設置に手間取っていた。また、木製のため、3回程度の使用で損傷してしまい、効率的でなかったことから、助成金を活用してステンレス製の型枠を導入※した。

(導入前)

(導入後)



木製からステンレス製の型枠導入により型枠の作成不要・設置時間50%短縮・精度向上

【導入経費の一部を助成】

○業務改善助成金

助成率 最大80%

上限額 最大100万円

【法人税の特例（経営強化税制）】

○即時償却又は取得価格の最大10%の税額控除

【固定資産税の特例措置】

○備品・設備等を新規取得した場合、固定資産税が3年間にわたり1/2に軽減

◆ 常時使用労働者数や生産性要件等により助成率が変化する等、助成金等には一定の要件があります。

- ・ステンレス製型枠を導入したことで、型枠作成や設置にかかる時間が短縮され、また、木製の型枠より手直しが減少し、施工精度が高まるとともに、損傷にも強いことから、使い回しできることでコスト削減にもなった。
- ・型枠作成や設置にかかる時間の短縮によって生産性が向上し、36協定の上限を見直した※。

御社の働き方改革を「働き方改革推進支援センター」は応援します！

そのほかの事例紹介、働き方改革の活用方法等については、

「愛知県働き方改革推進支援センター（平成30年度実施機関：愛知県社会保険労務士会）」で相談を受け付けています。

■ 本 部：名古屋市熱田区三本松町3-1

☎0120-868604

✉ hatarakikata@aichi-sr.com

■ 豊橋出張所：豊橋市花田町字石塚42-1（豊橋商工会議所内）

☎0800-200-5262

✉ hatarakikatatoyo@aichi-sr.com